

陽春の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災発生以来、四度目の春を迎えました。皆様から相馬市にお寄せいただいた温かい御支援に支えられ、当市の復興は概ね計画どおり進捗しており、市民の顔にも明るい表情が戻ってきたと実感しております。ここに改めて感謝を申し上げますとともに、現在の相馬市の復興状況について御報告いたします。

被災者の生活再建の基盤となる住宅の再建は、計画していた宅地百四区画、公営住宅四百十戸の全てが完成し、被災者が順次新たな生活を始めております。

また、被災した高齢者が共同生活を送る「相馬井戸端長屋」では、互助の精神で互いに支え合いながら穏やかに生活を送っております。

未来への希望である子どもたちは、地域社会、そして、多くの方々からの温かい気持ちに包まれながら健やかに成長し、明るい声が学び舎に響いております。今後とも、子ども達を注意深く見守り、心のケアに万全を期すとともに、将来をたくましく生きる力を身に付けさせることが私たち大人の責務と決意を新たにしております。

震災発生当初、海岸部を埋め尽くしたがれきはすべて焼却され、また、今、海岸部には次の災害への備えとして、防潮堤を築く槌音が響いております。大きな被害を受けた原釜地区に建設した「伝承鎮魂記念館」では、被災地の原風景と震災の記憶を伝えています。

相馬の漁師たちは、漁業の灯を守るため、風評被害や度重なる逆風にさらされても、決してあきらめることなく、本格操業に向け、地道に努力を重ねております。

相馬の水田は、農家の努力と多くの方々の知恵と工夫により着実に復旧が進み、私たちの心の原風景の一つである「瑞穂の国」の姿が戻ってまいりました。

また、先月、常磐自動車道が全線開通し、悲願であった高速交通ネットワークへの接続が実現しました。さらに「復興支援道路」と位置付けられた相馬福島道路も着々と整備が進んでおります。これら道路網とパークゴルフ場、サッカー場、ソフトボール場といった大規模スポーツ施設等を有効に活用し、交流人口の拡大に知恵を絞っております。

皆様からの御支援と市民の努力の積み重ねにより、新しい相馬の姿が見えてまいりました。皆様におかれましては、相馬に足を運んでいただき、相馬の姿をご覧いただければ幸いに存じます。

これからも私たちは、お寄せいただいた御支援に感謝しながら、「相馬市民であることに誇りを持てる相馬市の創造」、「力強い復興と安心して子育てができる新しい相馬市」の実現に向け市民一丸となって進んでまいりますので、今後とも温かくお見守りくださいますようお願いいたします。

敬具

平成二十七年四月吉日

医療法人裕和会 長尾クリニック
院長 長尾 和宏 様

相馬市長

立谷

秀清





新たな住宅団地の整備が完了

2015.04.24

相馬市役所秘書課

平成 27 年 3 月 26 日に、相馬市が整備を進めてきました新たな住宅団地・災害公営住宅の整備が完了しました。被災された皆さんの生活再建が、ますます進むこととなります。これまでのご支援、本当にありがとうございました。

相馬井戸端長屋



高齢者や独居の被災者が孤独化・孤立化しないように工夫しました。

「共助の精神」でお互いを見守りながら暮らしています。

「コミュニティが重要！」

新たなコミュニティの拠点となる集会所や公園を整備しています。その地域に昔からあるコミュニティとの連携の場所にもなります。

集会所



戸建タイプ (1F、2F)



アパートタイプ



年齢、家族構成など様々な条件に対応する公営住宅を整備。また、104 区画の宅地整備を行いました。

長屋タイプ 5 棟 (58 戸)、戸建タイプ 316 戸、アパートタイプ 4 棟 (36 戸)

協力していただいた地域の方々も一緒に



北高野団地災害市営住宅竣工式

H27.3.26

お住まいになれるみなさんと一緒に

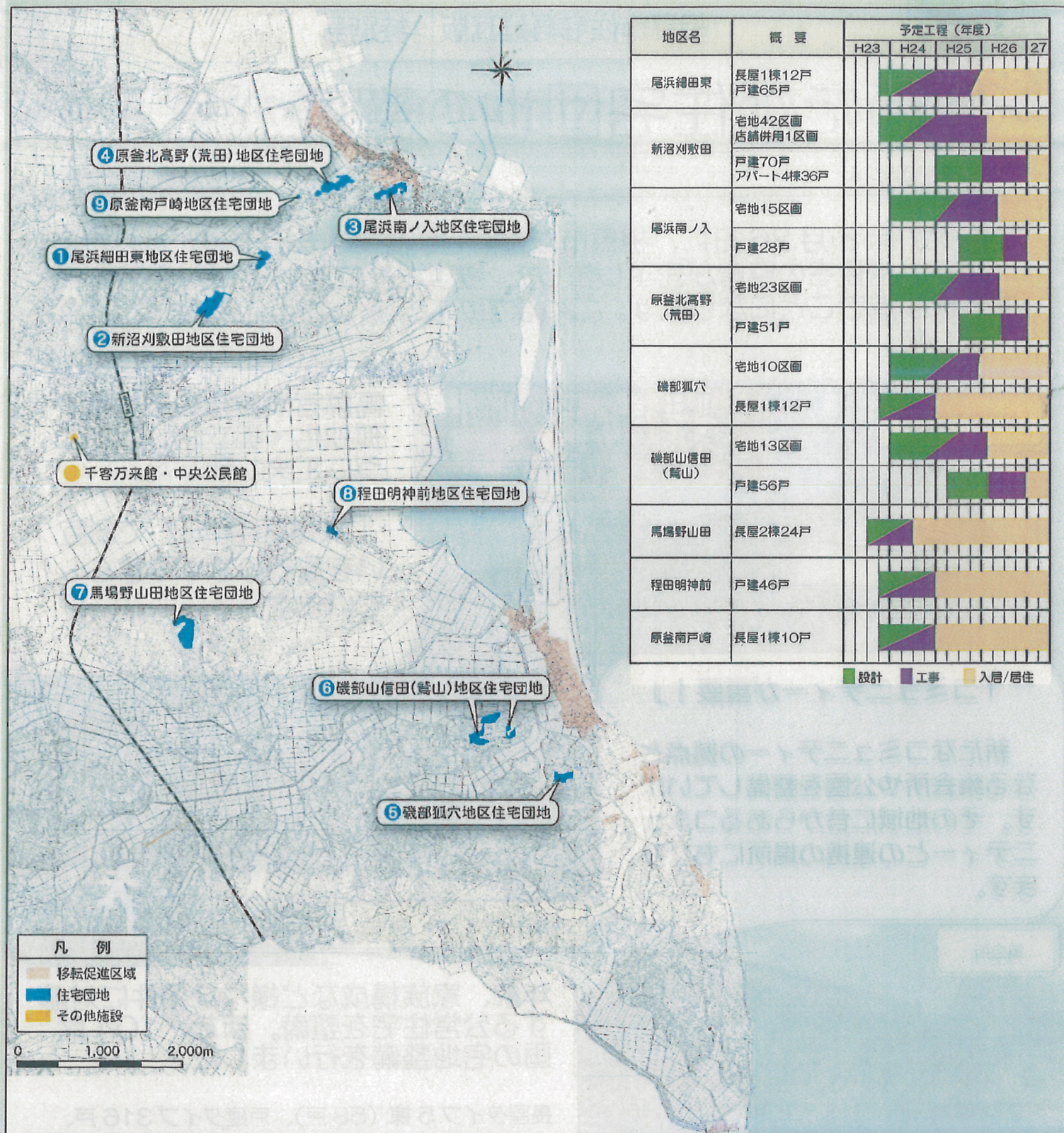


山信田団地災害市営住宅竣工式

H27.3.26



相馬市役所企画政策部秘書課
0244-37-2115



「相馬市千客万来館」のご紹介



相馬市の観光交流の拠点が完成！

千客万来館には、「相馬観光復興御案内処」「相馬市観光協会」が入居し、視察や観光案内の対応をワンストップで行います。相馬市にお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。

電話 0244-26-4848

相馬市民の悲願達成 常磐自動車道全線開通！

平成27年3月1日（日）に、常磐自動車道が全線開通となりました。

救急医療や企業誘致、観光振興拡大など、この地域の復興・発展に大きな役割を果たしてくれるものです。



平成27年4月1日（水）から、相馬～東京間高速バスの運行も始まりました。

東日本大震災をいつまでも忘れることなく。

伝承鎮魂祈念館と慰霊碑



震災の経験を記憶にとどめ、
遺族の心のよりどころとして。

震災で亡くなられた方々の慰霊のため、原釜地区と
磯部地区にご芳名を刻んだ慰霊碑を建立しました。

スポーツを通じた交流を進めています。

相馬光陽パークゴルフ場

- ・9コース81ホール
- ・初心者から上級者まで楽しめます。もちろん子ども達もOK。



スポーツ観光がキーワード

東北最大級の規模を誇るパークゴルフ場、FIFA
や日本サッカー協会と共に整備したサッカー場な
ど、市民はもちろん、県内外の多くの皆さんにご
利用いただいております。

相馬光陽ソフトボール場

- ・4面コート(外野は天然芝)
- ・東北楽天球団などから寄贈された屋内運動施設
「相馬こどもドーム」があります。



相馬光陽サッカー場

- ・天然芝コート3面
- ・人工芝コート2面
- ・クラブハウスを兼ねた「復興交流
支援センター」もあります。



将来に備える。

防災備蓄倉庫「相馬兵糧蔵」

水(30,000本)、食糧(30,000食)、毛布(7,250枚)などを備蓄。平常時は、
防災教育研修や交流施設として使用。



敷地内に、殉職消防団員の顕彰碑を建立